



2013.6.5

No. 233

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」

全道キャラバン 各地で集会開催

「解雇の自由化」に断固反対する緊急集会 開催!

労働者保護ルールの改悪を狙った安倍政権の規制緩和路線を阻止するため、連合北海道は28日、緊急集会を開催し、デモ行進をした。

大通公園8丁目広場に500人が参集する中、連合北海道工藤会長は、「成長戦略の名の下に労働者保護のルールの改悪は断固阻止する必要があり、本日の緊急集会をその契機としたい」と主催者挨拶があった。

続いて、連合本部から駆けつけた新谷総合労働局長は、「現在、国会で『解雇の金銭解決制度』(クビは無効!と裁判で労働者が勝っても、会社がお金さえ払えば労働者をクビにできる)、『限定社員制度』(勤務地や仕事内容が限定された働き方をする社員を作り、こうした人をクビにしやすくする)、『ホワイトカラーイグゼンプション』(何時間残業させても会社は残業代をまったく払わなくてOKとする制度)などが審議されている。

解雇の金銭解決は見送ったと報道されたが、夏の参院選までの話。連合は、労働規制の改悪を絶対に阻止するためにも、民主党と連携して労働者の力を結集して、運動を繰り広げて行く」と情勢報告があった。

民主党北海道副代表の小川勝也参議院議員から「働くことを軸とする豊かな福祉型社会を目指し、労働改悪をする安倍政権に対峙していく」と力強く決意表明がなされた。

集会アピールとして「『STOP THE 格差社会!暮らし



の底上げ実現』全道キャラバンを通じて、働く者の犠牲の上に成長戦略を描き労働者保護ルートを改悪しようとする動きに断固反対する」ことを採択し閉会した。

この後、参加者は大通公園8丁目広場からススキノまでデモ行進し、「解雇の自由化反対」「弱者切り捨ては許さないぞ!」などシュプレヒコールを繰り返し氣勢を上げた。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013053001_kakusa-caravan5.html



地公三者共闘会議「国に準じた新たな給与削減反対のたたかい」 全道昼休み総決起集会 開催！

5月28日、道庁東側前庭で昼休み総決起集会が開催された。

5月17日に道は、本年7月から来年3月まで、国家公務員に準じた内容で、新たな賃金削減提案を地公三者共闘の各構成組織に提案してきた。

連合北海道は提案内容が、地域の民間労働者などの給与に大きな影響を与え、冷え込んでいる地域経済を更に悪化させることから、知事に対し地方財政確立を要請した。この日の集会で出村事務局長は、「連合北海道は現在、STOP THE 格差社会！全道キャラバン行動を展開し、地方財政の確保と地方分権の確立を目指し、地方公務員の人件費削減に反対し、道民

世論を喚起している」と激励の挨拶を行った。

今後も道・国・総務省などに対する要請行動などを強力に進めて行く必要がある。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013053001_kakusa-caravan5.html



全道キャラバン通信

1. 全道キャラバンスタート 稚内では出発集会開催される！

5月20日、「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンの全道キャラバンが豊富町をスタートした。同日夜に稚内市で開催された出発集会には、工藤連合北海道会長、連合本部の安永副事務局長、須田総合労働局長も出席する中、約200名が参集した。

全道を6月16日までの約1ヶ月かけて街宣車でリレーして、100箇所以上での街頭宣伝や集会を通じて、広く道民に (1) 労働規制の緩和を許さない (2) 最低賃金の引き上げとセーフティネットの整備で社会の底上げを図る



(3) 住民サービスの低下につながる地方交付税削減に反対する (4) 全世代支援型の社会保障制度をつくる (5) 労働者の権利と

行使を通じて集団的労使関係の和を広げる

などを訴えて世論喚起をはかって行く。

5月20日9時に豊富町を出発したキャラバンは、幌延町、中頓別町、浜頓別町、猿払村を進みながら5つの商工会へ要請行動を行い、7箇所

で街頭演説を実施した。翌朝は、稚内市役所前で街宣し、稚内市役所と稚内商工会議所への要請行動の後、知来別から鬼志別を經由し歌登町、枝幸町へと向かった。宗谷管内433キロを走り、網走地協へと同日夕方、バトンタッチした。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013052001_kakusa-caravan1.html



2. 網走地協にバトンタッチ、枝幸町から標津町まで3日間で全500キロ！

5月21日、枝幸町で宗谷地協から街宣車を受け取り、22～23日の2日間、オホーツク管内の12市町村で政策をアピールした。12市町村自治体・商工会議所(商工会)等への要請行動を実施し、また、12箇所

で街頭演説も実施。翌22日(水)は、興部→西興部→滝上→紋別→佐呂間→湧別→遠軽と進んだ。イオン紋別店前では、網走地協太田事務局長たちが街頭演説を行った。同日夜の網走地区集会(遠軽町基幹集落センター)には約150名が結集。参加した連合北海道の林会長代は、

「安倍政権は地方切り捨てに舵を切った。格差拡大、労働規制の緩和に断固反対しよう」と訴えた。

23日(木)は北見→美幌→網走→小清水→斜里と走行、オホーツク管内500キロを駆け抜け夕刻、標津にて釧根地協に街宣車を引き渡した。

紋別市では、網走地協太田事務局長、日下民主党道議、石田紋別市議が街頭演説を行い、「格差是正に向け、7月の参議院選挙に勝利しよう」と訴えた。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013052201_kakusa-caravan2.html

3.暮らしの底上げを目指し、釧路報告集会開催！ 霧の中648キロ走破！

5月25日16時から、釧路市民文化会館にて、「全道キャラバン 釧路集会」が350人の参加のもと開催された。連合北海道釧根地協赤田事務局長の司会進行で始まり、釧根地協佐藤会長の主催者挨拶では、「民主党と共に、地方の再生、地元の立て直しに取り組み、地域に定住していける社会作りに取り組んできた。

アベノミクスと取りざたされる安倍政権では、都市部だけが栄えるようないびつな構造になりつつある」と、格差拡大の危惧を訴えた。

民主党第7区総支部代表の岡田篤氏の来賓あいさつの後、連合北海道紺野副会長からの基調提起として、以下の3点の「最低賃金制度の水準の大幅引上げ、地方自治

体の財政確保、労働者保護の後退に断固反対」の重要性を訴えた。

その後、官民をそれぞれ代表して北教組釧路支部山岡さんと全自交釧路地協の細矢さんから力強く決意表明がなされた。

高木副事務局長の集会アピール採択の後、団結三唱で閉会となった。

報告集会終了後の18時より、民主党小川勝也国政報告会が大ホールで開催され、応援に駆けつけた蓮舫参院議員とともに支持拡大を訴えた。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013052701_kakusa-caravan3.html



4.十勝は30度を超す猛暑の中での集会とデモ行進！

5月27日18時30分から帯広中央公園にて700人参集のもと、十勝地区集会が開催された。

連合北海道十勝地協中村会長から、「アベノミクスに本気で取り組むなら、最低賃金制度の充実、雇用確保に取り組むべきだ」と主催者挨拶の後、民主党十勝副代表の池本道議から「キャラバン行動を民主党は全面的に支援する」と連帯の挨拶を頂戴した。

連合北海道安田副会長からの情勢報告の後、UAゼンセン・フクハラ労組の藤田委員長と、北教組十勝支部の

佐竹さんから決意表明がなされた。その後、集会で自治労帯広市労連の鈴木さんがシュプレヒコールを披露し、氣勢を上げた。集会終了後に、参加者全員で帯広市内をデモ行進し、市民に「反格差社会」を訴えた。

翌日28日は鹿追、新得、清水、中札内、大樹、広尾と街宣走行し、十勝管内の走行距離は561キロとなり、日高地協へバトンタッチした。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013052902_kakusa-caravan4.html



